

(件名) 馬毛島基地(仮称)に空自救難隊の配置を求める陳情書

(陳情の趣旨)

現在、南西諸島北部地域(奄美群島以北。以下同じ)における夜間や悪天候時の緊急患者空輸は、海自鹿屋基地内の第22航空隊鹿屋航空分遣隊が担任していますが、同分遣隊は、2022年度末に廃止される予定となっているという報道がありました。(別紙「参考資料」を参照)

同分遣隊の廃止後、南西諸島北部地域における夜間や悪天候時の緊急患者空輸の任務は、空自新田原基地の新田原救難隊に引き継がれるものと思料します。

海自救難ヘリUH60Jの鹿屋基地から西之表までの所要時間(注1)は、約18分ですが、空自新田原救難隊の救難ヘリUH60Jの新田原から西之表までの所要時間(注1)は約40分となります。

(注1)UH60Jの巡航速度約235km/hで飛行した場合の所要時間

鹿屋基地～西之表：約70km 新田原基地～西之表：約160km

2022年度末から、1分1秒を争う緊急患者空輸において、従来よりも約22分の到着遅れとなることは、南西諸島北部地域の島民にとっての影響は極めて大きなものとなることは明白です。

この問題点を解決するため、新田原救難隊を馬毛島基地(仮称)へ移転させ、「馬毛島救難隊」として南西諸島北部地域の緊急患者空輸任務を担当してもらうことを要望するものです。

このことにより、南西諸島北部地域への救難ヘリの到着は約40分短縮・改善され、より多くの島民の命を救うことが可能となります。

また、南西諸島北部地域での自衛隊航空機の事故発生時における搭乗員の捜索・救助活動も、より効果的に遂行することができるようになるものと思料します。

鹿児島県議会におかれましては、馬毛島基地(仮称)の施設整備が本格的に開始される前に、新田原救難隊を馬毛島基地(仮称)へ移転・配置するよう防衛省等に対して要請して頂くことを強く要望致します。

(添付書類省略)